

平成25年度 第3回湖東圏域公共交通活性化協議会総会

開催日 平成26年3月28日（金）15時～17時

開催場所 彦根市役所 5階 第3委員会室

出席者 別紙参照

1 開会

2 議事

(1) 第1号議案について

- ・ 第1号議案 専決処分につき承認を求めることについて、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(2) 第2号議案について（資料1、資料2）

- ・ 第2号議案 湖東圏域地域公共交通総合連携計画（第二次計画）の策定について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、会長職務代理者より承認を求めた結果、異議無く承認された。

● 武永会長職務代理者（滋賀大学）

- ・ パブコメに指摘のあった自転車シェアリングについて、都市部でのレンタサイクルは色々なところで進められており、クレジット決済などいろいろあるが、観光客対応として乗り捨て可能なシステムなども考えられる。ただ本計画で圏域全体として盛り込むことは難しい。

(3) 第3号議案・第4号議案について

- ・ 第3号議案 平成26年度事業計画（案）及び第4号議案 平成26年度（2014年度）収支予算（案）について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、会長職務代理者より承認を求めた結果、異議無く承認された。

● 後藤委員（運輸支局）

- ・ WEBでの情報提供について、既存のベンダー（Yahoo!など）がある中で、今回200万円かけて構築するメリットは何か。愛のりタクシーまで検索出来るのであれば良いが、どういうイメージか。

● 事務局

- ・ WEB Yahoo 検索については鉄道との連携などが出来ているが、市内のバス路線検索については、彦根市立病院など主要なバス停が出てこないなどの課題がある。また、今後の時刻表修正が合った場合も、ダイヤ改正の反映が3ヶ月ぐらいかかるとのことと、「県立大学」という停留所を検索すると全国の県立大学が出てくるなど、圏域の住民にとって必ずしも便利ではない。そのため、初めてお使い頂ける方が出来るだけストレスなく提供できるような検索が必要と考えており、改めて湖東圏域としてすぐにバ

スに乗れるようなシステムを提案したい。

- 横幕委員（近江タクシー）
 - ・ 愛のりタクシーについてもこれだけ利用が浸透しているので、検索範囲に加えてほしい。
- 中村委員（近江鉄道）
 - ・ 鉄道も、JR との絡みもあろうが検索できるよう検討されたい。
- 事務局
 - ・ できるだけ反映できるよう検討する。

- 後藤委員（運輸支局）
 - ・ スマホへの対応はいかがか。また、観光部局が作成している「ナビ彦」との連携は。
- 事務局
 - ・ スマホは対応可。「ナビ彦」は彦根市中心部がメインであり、圏域全体に地図を追加すると、非常に費用がかかることになるので困難と想定する。
- 武永会長職務代理者（滋賀大学）
 - ・ 愛のりタクシーの申し込み方法が分かるようなシステムも検討されたい。また、時刻表だけでなく、利用を促進できるようなコンテンツも検討されたい。

(4) 第5号議案について（資料3）

- ・ 第5号議案 湖東圏域地域協働推進事業計画（案）について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、会長職務代理者より承認を求めた結果、異議無く承認された。
 - 武永会長職務代理者（滋賀大学）
 - ・ 大学の学生に言わせると、バス停がどこにあるか分からないなどもあるので、分かりやすさ向上には期待したい。
 - 樋口委員（滋賀県バス協会）
 - ・ 交通政策基本法が施行され、国でも基本計画が策定される予定。国、自治体、事業者、住民の役割分担が重要となるが、住民にも積極的な取組を期待する施策はあるか。例えばワークショップなど、住民側が取り組める仕組みを3年かけて考えてはどうか。
 - 事務局
 - ・ 現在の検討しているメニューではワークショップは挙げていない。ただ今後出来るだけ早期に、住民から公共交通に対する思いを聞くなどの取組を続けていきたい。
 - ・ 地域協働推進事業に、2年目・3年目の事業を記載しているが、現時点で分かっていることを記載しており、来年度以降変わっていくことが想定されるため、今後総会で諮りながら取り組んでいきたい。
 - 樋口委員（滋賀県バス協会）
 - ・ 例えば、住民に具体的な費用負担（回数券購入など）を求めていくなど、1月に1回

でも買ってもらふなどの取組がないと、バス路線も残っていかないとと思う。

● 武永会長職務代理者（滋賀大学）

- ・ 年間 1 億 6 千万円のバスに対する補助も、結局住民から頂く税金から出ている訳で、ご提案の形をどのように具現化するかは工夫しなければならない。例えば学生や住民からのアイデアでデザインを一新する、などこちらから良い物を提供していただくではなく、住民側から動く工夫を考えていきたい。

● 後藤委員（近畿運輸局）

- ・ 住民に負担を求めるという話に関連して、守山で一度住民に対してバス利用に関するヒアリングを実施したが、「そういう市役所職員は乗っているのか」という意見が出された。我々も含めて行政が見本を見せないと市民にも働きかけが難しいし、乗ってみないと分からないところもある。まず自らが不便さを体感する必要がある。
- ・ 机上の議論ではなく、自治体、バス会社が一緒に乗って問題点を解決すべき。

● 事務局

- ・ 実際、私個人でもバスを利用するのにハードルは非常に高い。個人としても組織としても考えていきたい。
- ・ 彦根市職員については、終バス時間が方面別に違うので一律の対応は難しいが、職員に対する利用促進も考えていきたい。

● 山田委員（彦根市都市建設部）

- ・ 市役所職員に対しては、毎週金曜日ノーマイカーデーとして、ISO14001 の中で運動はしているが、実績が伴わない状況で苦慮はしている。
- ・ 庁内で周知啓発はしているというところでご理解頂き、なぜ乗らないかについては、本数がない、バス停から遠いなど、乗りたいけど乗れないという声も職員からある中で、今後検討していきたい。

● 武永会長職務代理者（滋賀大学）

- ・ 私もバスでなくタクシーを使ったりするが、実際に滋賀大口のバス本数を見るととても利用は無理だという形になり、滋賀大学では貸切で運行していただいている。大学からは費用の持ち出しがあるが、大きな赤字にはなっていない。朝は積み残しもある一方で昼はガラガラの需要変動があるが、いずれにせよ、バスの台数と人員に限りがある中でどう工夫していくか、というところになる。

● 加茂委員（タクシー協会）

- ・ 年配の女性の方など免許を持たない方は出来るだけ外に出ていただくということで、近くのスーパーとタイアップして、ポイントを付けてもらう、自治体のほうで頑張ってもらって乗ってもらう人を増やす運動を地元も巻き込んでやっていくなども考えられるので参考になれば幸いである。

● 樋口委員（滋賀県バス協会）

- ・ 地震風水害時の輸送手段としてバスが大きな役割を果たすこともあり、これはバスが日頃維持できているからこそできることである。そういう意味でもバスを残していかないといけない。色々な策を講じて是非バスを残して頂きたい。

- ・ また、まちづくりの観点では検討されているか。
- 後藤委員（近畿運輸局）
 - ・ 今はまちづくりの観点は入っていないが今後、地域公共交通活性化再生法が改正される中で、まちづくりとの連携がキーワードに入っている。今後定量的な目標も含めて考えていく必要がある。
- 加茂委員（タクシー協会）
 - ・ ラッピングバスでひこにゃんを使ってというのが人気があったらしいが、湖東圏域全体も、ひこにゃんをもっと使いやすく打ち出していけば良いのではないか。あくまで私案であるが。
- 事務局
 - ・ 彦根市のキャラクターとして、ルールを設けているため、制約がある。今回ラッピングバスでの経験をもとに色んな場面で工夫して使っていきたい。
- 中村委員（近江鉄道）
 - ・ 弊社も多賀線が100周年ということでキャラクターを作った。今後色々なところでキャラクターを一緒に使ってやっていきたい。

(5) 第6号議案について

- ・ 第6号議案 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書（案）について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、会長より承認を求めた結果、交付申請については今後事務局に修正を一任することを異議無く承認された。

(6) 第7号議案について（資料4）

- ・ 第7号議案 運転免許自主返納制度について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、会長より承認を求めた結果、異議無く承認された。
- 中村委員（近江鉄道）
 - ・ 今後、鉄道もこういった（免許返納の）支援を頂ければ幸いである。現在愛荘町が実施している制度は鉄道も使えており、JRとの関係もあろうが、近江鉄道も一緒になって取り組ませて頂けるよう、お知恵を頂きたいと考える。
- 事務局
 - ・ 近江タクシーは事業者として免許返納者に対して1割の割引を実施されている。そういう取組も参考に今後ご相談したい。

(7) その他

- ・ 次回の総会は、平成25年度事業報告と決算案について平成26年6月末に開催予定である。

3 閉会

以上